

協定団体名	日本たばこ産業株式会社
交流行事名	JTの森奈半利～サンゴを守る森～2012年秋の森林（環境）保全活動
開催日時	平成24年11月17日（金）
開催場所	奈半利小学校体育館
主な参加者・人数	日本たばこ産業社員の皆様、郷分生産森林組合、奈半利町漁協、奈半利川淡水漁協、奈半利町、高知県 約100名
交流行事の概要	丸太切り競争、環境学習、木工教室
当日の様子	<p>当日はあいにく荒天で、奈半利小学校の体育館での交流イベントとなりました。体育館には朝早くから丸太切り競争や昼食、木工教室の準備が整えられ、大雨に負けないスタッフの皆さんの熱意が感じられました。</p> <p>開会式では町長、生産森林組合長、高知県林業振興・環境部長、JT 四国支店長から挨拶がありました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>まず丸太切り競争が行われました。参加者で6チーム、地元で2チームの計8チームの全員参加で、20分間に切った直径の合計を競いました。</p> <p>交代とはいえ20分間のノコギリでの作業はかなり大変で、皆さん息を切らしながら一生懸命切っていました。</p> <p>真剣勝負の結果はやはりプロも入っている地元2チームのワンツーフィニッシュでした。（参考記録ということで表彰の対象にはなりませんでしたが。）</p> <p>参加者チームの1位と2位にはあとで賞品が贈呈されました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

休憩をはさんだあとはお昼をいただきました。お弁当のほかにかつおのたたきやアユの塩焼き、あたたかい豚汁がふるまわれました。

会場では地元産品の物販も行われており、奈半利町をはじめとした県内の特産物が並んでいました。こちらは大変盛況で、皆さんお土産にたくさん買って行かれました。



次に、天然アユの資源保全活動を行っている高橋勇夫先生の講演を聴きました。高橋先生は奈半利川のアユの産卵場造成の指導をしており、その様子や効果などを分かりやすく説明して下さいました。アユの生態に合わせた対処法を試行錯誤し、地元漁協やダムを使う発電事業者、行政、専門家が「一丸」となった取り組みが効果を上げはじめていているという話に、大変感銘を受けました。

最後は木工教室です。ヒノキの皮剥ぎ体験や機械を使ったコースターの自作、竹トンボづくりが行われました。

コースターは実際に丸太の状態から切断機を操作して輪切りし、サンドペーパーをかけたあと焼きごてで「JTの森」の印を入れるというもので、たくさん作る方もいらっしゃいました。

形が変わったコースターにもチャレンジしてみたり、よく飛ぶ竹トンボについて議論したり、全員でやりとりを楽しみながら作業に取り組んでいました。



閉会式では丸太切り競争の優勝チーム、準優勝チームの表彰や、5回連続参加した方への表彰が行われました。

雨ということで開催も危ぶまれた交流活動でしたが、盛況のうちに終わることができました。

参加者の皆さんには来年も来ていただき、今度はぜひ森、川、海での体験活動をしていただきたいと思います。